



△一般町民向け及び小中学生保護者用びアンケート

**アンケート内容・集計結果について**

平成27年5月、町は、「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定するため、小清水町の生活環境や町の施策評価などについてアンケートを実施しました。

アンケートは、将来を担う小中学生及び高校生、その他小中学生の保護者、無作為抽出による一般町民の皆さん合わせて1852名を対象に実施しました。(下図はアンケート配付数・集計率の結果です。)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

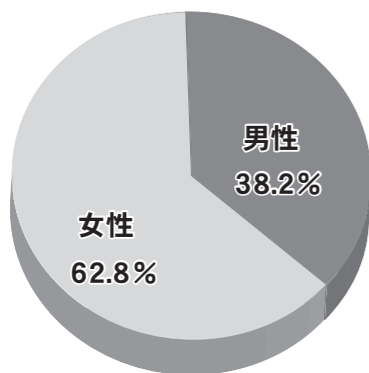
◆ アンケート毎の集計結果 ◆

種類	町民アンケート		高校生アンケート	中学生アンケート	小学生アンケート
	一般町民 (抽出)	小中学生保護者	15~17歳の町民 (抽出)	小清水中学校生徒	小清水小学校児童
配付対象	一般町民 (抽出)	小中学生保護者	15~17歳の町民 (抽出)	小清水中学校生徒	小清水小学校児童
配付数	1,034票	349票*	120票	121票	228票
回収数	276票	204票	29票	81票	153票
回収率	26.7%	58.5%	24.2%	66.9%	67.1%

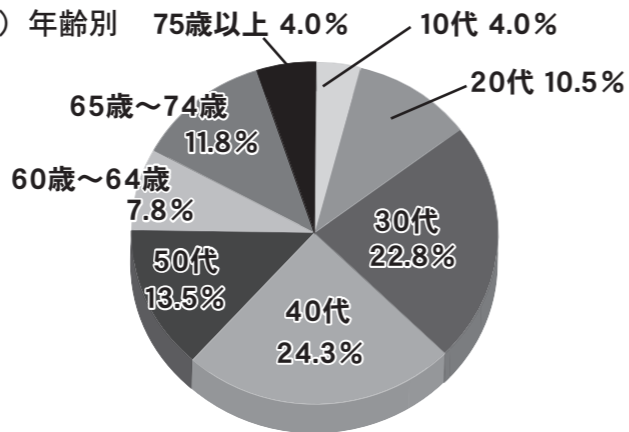
\*小中学生合計349人を通じて配布、児童生徒の兄弟重複で実質配布数は200票程度

◆ 一般町民アンケート回答割合 ◆

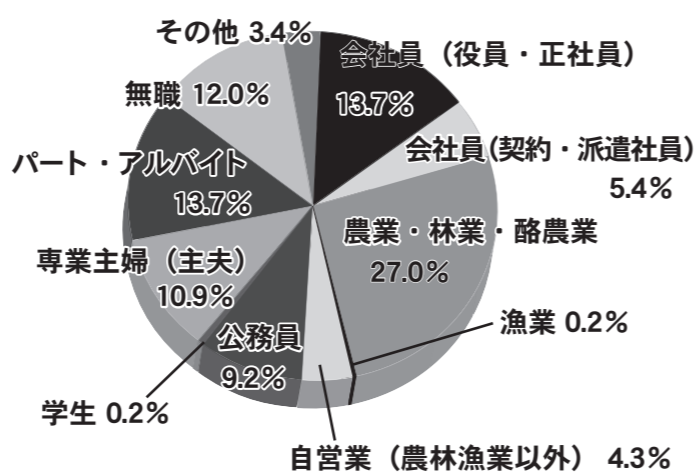
(1) 性別



(2) 年齢別



(3) 職業別



◆ 居住状況について

居住と転入・転出について

今回のアンケートでは、最初の質問で居住年数と将来の居住状況を聞きました。現在、小清水町に住んでいる方の半数以上は、住み続けている方もしくは住んだことのある方となっています。また、町外からの転入理由として多いのは、「結婚・離婚等の家庭の理由」と「自身または家族の就職等などのため」が大半を占めています。

# 小清水町まちづくり 町民アンケート結果報告

## ～小清水町人口ビジョン、小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定～

日本の人口減少は、経済社会に大きな悪影響を及ぼすとされ、特に地方においては、「人口の減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」悪循環を巻き起こすと推測されています。

そこで国は、急速な少子・高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、国をはじめすべての都道府県及び市町村に対して「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定を求めました。

小清水町につきましても、国及び北海道が策定する総合戦略を勘案しながら、「小清水町人口ビジョン」(以下人口ビジョン)・「小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下総合戦略)を策定し、地方創生に取り組みます。

### 1 人口ビジョン、総合戦略とは？

人口ビジョンは、町の人口の現状や将来推計、人口変化の影響分析を行い、総合戦略による施策の方向性を踏まえ、2040年(平成52)年

度を目標とした人口の将来展望を定めます。

### ② 総合戦略

総合戦略は、小清水町における「まち・ひと・しごと創生」に関する基本目標及びその達成に向けて取り組むべき施策の基本的方向や具体的施策、重要業績評価指標(KPI)を定め、目標年度を2019(平成31)年度とする5カ年間の計画を策定します。

また、毎年度PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

### 2 どのように策定するの？

①小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 (平成27年7月)

総合戦略策定を庁内横断的に取り組むため、森田副町長を委員長とする「小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」を設置しました。

この委員会は、次に記載する推進会議の運営及び具体的な事項について、協議・検討を行う作業組織として設置しています。

て設置しています。

### ②小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の設置 (平成27年7月)

総合戦略の策定及び推進にあたり、町民のほか、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアいわゆる「産官学金労言」の関係者の意見を反映するため、「小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を設置しました。

### 3 町民アンケートについて

小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、本町の将来ビジョンや人口減少に歯止めをかける雇用安定対策、子育て支援対策といった戦略を検討するため、町民アンケートを5月に実施しました。

そこで今月号と来月号では、アンケートの集計結果などを掲載します。今月号は、アンケートの回収率と町の居住状況・施策評価にスポットを当て掲載します。